

小浜川における災害復旧工事について

様式2



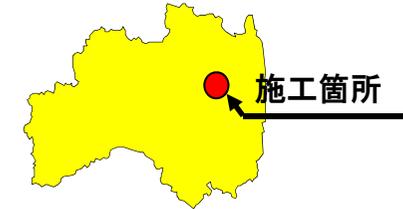
県北建設事務所
主査 長澤 利幸

～狭小作業ヤードと土質変化による柔軟な工法変更～

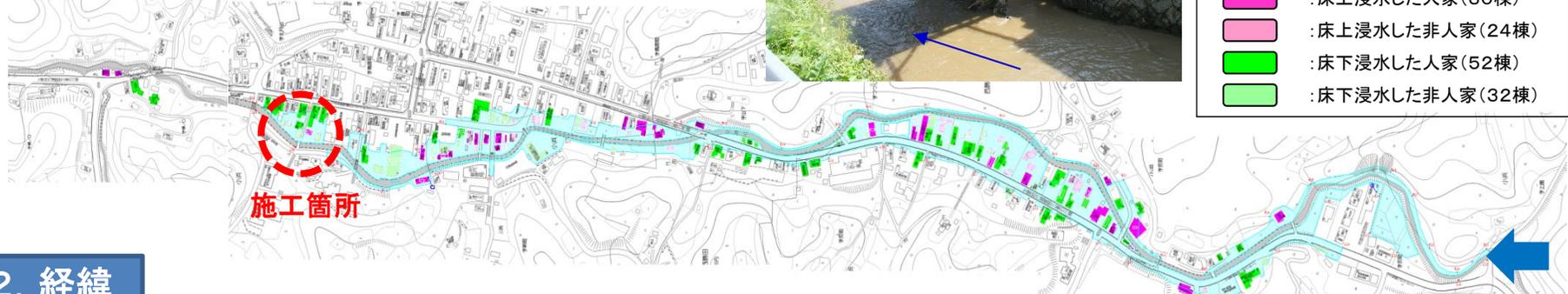
施工場所：福島県二本松市小浜地内

1. はじめに

- ・小浜川は本宮市と隣接する三春町との境を最上流とし、本宮市及び二本松市を流下して下流の阿武隈川水系移川に合流する一級河川である。
- ・施工箇所は平成25年8月5日の局地的豪雨により河川護岸の崩落、市道橋梁の落橋などの被災を受けた。

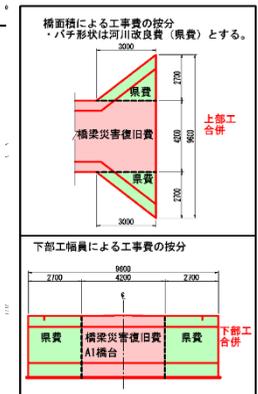
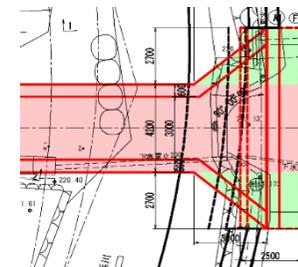
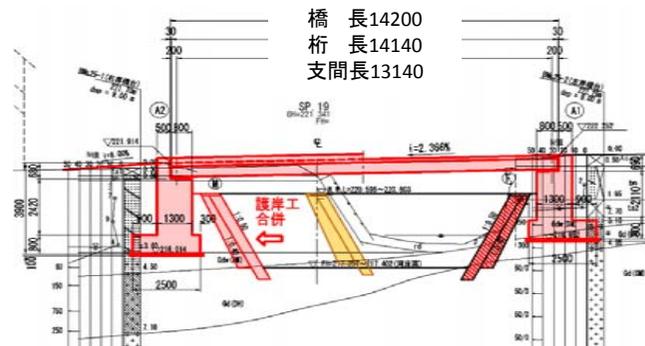
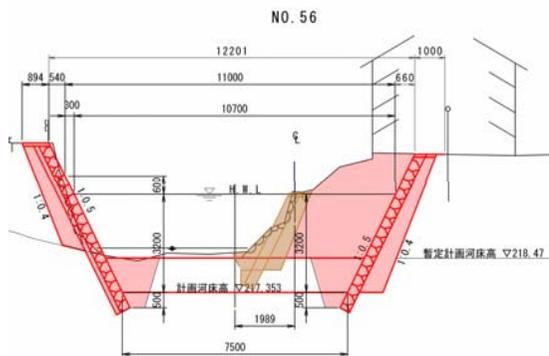


	: 床上浸水した人家(30棟)
	: 床上浸水した非人家(24棟)
	: 床下浸水した人家(52棟)
	: 床下浸水した非人家(32棟)



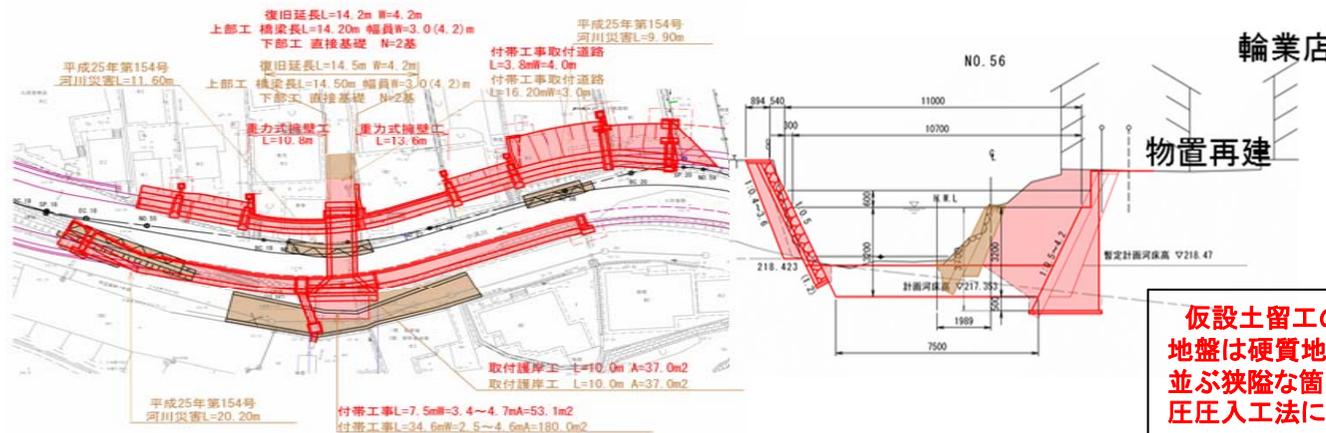
2. 経緯

・災害査定後、再度被災防止のため策定した河川改修計画と整合を図る復旧方針とし、施設管理者毎の復旧工事が輻輳することを避け、早期復旧を図るために狭小な作業範囲を効率良く使用する方法として県が合併・合冊施工した。
合併(河川災害復旧工事+河川改良工事) → 合冊 ← 合併(橋梁災害復旧工事+河川改良工事)



3. 内容

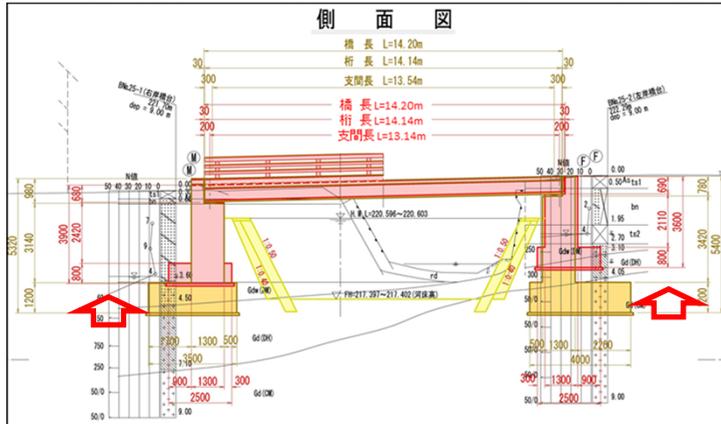
・工法変更 河川災害復旧工事 **積ブロック工 → 重力式擁壁護岸**



・工法変更 橋梁災害復旧工事 **PC橋 → 角形鋼管床版橋**(NETIS登録名:角太橋)

マサ土層に支持地盤が確認されたことから下部工底面位置を変更

狭隘な作業ヤードで架設工を行い、早期に生活道路を開放する工法に変更



	PCプレテンション床版橋(原形復旧)	角形鋼管床版橋(実施設計)
形状寸法		
製作+架設+付属施設 施工日数	120日+30日+15日=165日 (1.00) (H30年度完了)	90日+30日+15日=135日 (0.82) (H29年度完了)
架設使用 クレーン	100tクレーン	25tクレーン

4. 進捗状況

・工事期間 平成28年8月～平成30年3月

・進捗率 河川災害復旧工事 75% 橋梁災害復旧工事 85%

5. おわりに

・本箇所は狭隘な現場条件であるため、施工に使用する建設機械の据付け位置は隣接した宅地や幼稚園児の送迎を行う駐車場を借地していることから、一日も早い工事の完成が望まれます。

今後も関係者の皆様のご協力をいただきながら、早期完成に努めて参ります。